

奈良・人と自然の会

生駒山越えに参加して

織 沙久美

10月8日（水）晴れ

ここ数日急に涼しくなりました。歩くには最高の快晴に恵まれ、23名が参加しました。私は小学校の遠足で生まれて初めて飛行機に乗ったのが生駒山遊園地で、懐かしく参加しました。

生駒駅で手作りの資料（老眼にはちょっと見づらい？）を頂戴した時から学習が始まっていました。

ケーブルで霞ヶ丘駅下車、薬師の滝分岐から展望台、暗峠、西畑の棚田見学をして南生駒駅までが今回のコースでした。今回は参加者がお互いに先生のため同定できない植物に出会うとなかなか先に進まない。植生の多い山道を“これアズキナシ、チゴユリ”

これ何やろ“クマノミズキ”これは？“ツリバナ”

これは“タカサブロウ”やーちょっと違うで、

図鑑で確認したら“ハキダメギク”に間違いないわ。

とわいわいがやがやと歩いていました。

その時運悪くハチに遭遇してしまい、

お気の毒に2人が災難に遭われ、途中で病院に行かれるハプニングが起こってしまいました。

お二人には申し訳ないのですが、

残った私たちはまた楽しく歩き展望台で昼食。

展望台から見えるはずの大和三山は

残念ながらかすんで見る事が出来ませんでした。

暗峠から西畑町に入っすぐ

現地の人と棚田クラブの人達とが

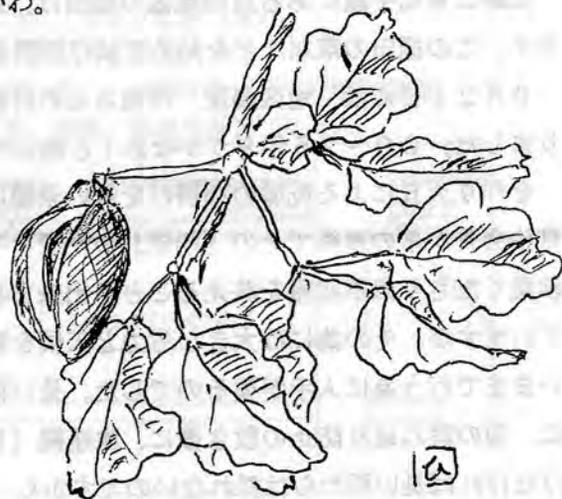
お互いに挨拶が交わされる姿は感激でした。

作業の終わった棚田に白いソバの花が満開に咲き、

まわりには黄金の稲穂、ピンクのコスモスと

見事な景観と気持ちの良いさわやかな風を受けながら解散。

最高の1日でした。お世話いただきました方々本当に有り難うございました。



生駒山越（10月8日）と棚田の草刈（同12日）に参加して

飛田太一郎

時間をかけて教え合いながら、ゆっくりと歩いたので、知らない話も聞けて、ひじょうに楽しかった。生駒奈良側は、種類が多いと予想のもとにコース設定したが、西畑へ入ると、大阪側にはない、ヤマハツカ、サクラタデ、フユノハナワラビ、矢竹、名前の分からない「ツル」系、ツリガネニンジンの群生等が有って、感激した。4日後、棚田の日に、古暗峠道（伝）を再訪したが、「イチイガシ」「赤ガシ」がみつき、生駒山では、ひじょうに珍しく皆さんにみせたかった。メンバーが汗まみれで、草刈に挑戦した石垣（地元の人でも35年ぶりに見て、なつかしがられた）を、みやりながら、背高以上のアワダチ草を手刈した健気にも下草（名も分からない）が、しっかりとほえていた。東側の矢田丘陵が垣間にみえた時、苦勞が吹き飛び、皆から喚声が出た。ミソソバの群生と、無しと思っていた「ガマ」も現れた。村の人より、黒豆を頂いたが、ひじょうに甘くおいしく、帰ってからのビールがことのほか進んだ。



いこま（西畑地区）の棚田

阿部和生

生駒山東面中腹にある西畑地区の棚田は、県道308号線沿い暗がり峠を少し下がったところにあります。この棚田の草刈などを始めて試行期間を含め4ヶ月ほどになります。

9月21日には、地区農家 川田さんの好意により『稲刈り体験』をすることが出来大勢の参加がありました。20～25年ぶりかなあ！と地元の方がおっしゃる『稲架』ハザ

を作り天日による乾燥の稲掛けを行い景観に彩を添えることができた。また10月5日には、東野自治会長からの連絡でその『稲架』の脱穀を手伝うことになった。突然のことであったが6名の方々が参集くださり無事収穫を終えることが出来ました。「天日乾燥のお米は味がよい」と言われていますが、その為には大きな労力と天候を味方にしなければなりません。この脱穀は藁を刻まずに長いままで行う為に人手が要るのです。長い稲わらは後の利用範囲が広いのです。野菜の種まきの覆いに、雨の跳ね返し防止の敷き藁に、注連縄（しめなわ）をはじめとするわら工芸品など… 手間を掛ければ長い稲わらは採れないのですから 貴重品かもしれません。

きわめてスムーズに進行している農作業の中には、経験から得たいろいろな知恵がそこかしこに散りばめてあり驚きます。例えば『稲架』を作るとき3本の竹を上の方で簡単に結び（簡単に解けるように）田に突きたて上部に長い竹を横木とします。このとき3本の竹の1本は横木と同じ方向にすることにより『はざ』は堅固になり傾かず横風にも強くなります。湿田は収穫期には、稲刈り作業をしやすくする排水の水路を作りをする、などなど… こうした人手を要する作業は、年々敬遠されて機械に委ねられたり省略されたりします。伝承されずに忘れ去られそうです。書き留めておく事も必要かもしれません。

棚田に関していえば水田の経済性の視点からのみ捉えれば、休耕田や放棄農地に移行してしまうのではないのでしょうか？ 山林も同じく事業として又経済性の視点からのみの考え方で捉え山は放置され荒れてゆきました。近年ようやく方向転換がなされて『森林の機能』という重要な視点がクローズアップされ さらに『持続可能な』という考えが付加され大きく改善され今日に至っています。水田、棚田に関しても経済性 経済力の視点にとらわれずに『多様な生態系・水資源等の保護 自然環境の保全』つまり公益性の重視に進むことが大切ではないのでしょうか、都市住民の安らぎの場所としての交流もあるでしょう

無意識の中にそういった方向に進んでいるのではないのでしょうか。

『共生』という言葉が最近よく見かけるようになりました。自然環境の保護と農業の実態は、相対立するものでなくて 補いあう関係であることを知る必要があるのではないのでしょうか 棚田の再生は、単に休耕田や放棄農地の再生という目先のことでなく もう少し大きな視点や考え方が根底に必要でしょう。地域のかたがたとお互いに学びあい 理解を深め お互いに行動を始め 意識の改革に伴う地域の活性化『協働』への進展を夢見たいものと思います



神嘗祭と新嘗祭、そして稻

寺田正博

11月23日は「勤労感謝の日」である。昭和23（1948）年の「国民の祝日に関する法律」（勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう）によって国民の祝日と定められたものである。

「勤労感謝の日」が11月23日になったのには明治6年「太政官布告」によって、「新嘗祭」が11月23日に定められたことに由来する。

その年の新穀を神に供えて収穫を感謝し、共食して靈魂の充足をはかる祭を「新嘗祭」という。「新嘗祭」は、古代の中央集権国家を統治するための基本法典である「律令」による宮廷の祭祀として整えられて、「大嘗祭」（おむすべのまつり）といった。平安時代になって年ごとの大嘗祭は新嘗祭、天皇が即位後初めて行なうのをを踐祚大嘗祭というようになった。「神嘗祭」は伊勢神宮における新嘗の祭であり、その年の初穂を供えて祭ったようである。元正天皇の養老5（721）年9月乙卯の日に伊勢神宮に勅使をつかわして幣帛を奉ったことが、続日本紀に記されている。以来9月16日が外宮、9月17日が内宮と決められた。

その後、明治12年太政官布告によって、10月17日に改められた。

「新嘗祭」は、天武天皇6（678）年11月乙卯の日にとり行なわれたことが日本書紀に記されているが、その期限は古く、稲作の到来とともに成立したものとされている。皇極天皇（在位642～646）のときから11月「中卯の日」が祭日と定められたが、中卯の日とは、一ヵ月の中にある二番目の卯の日のことである。

新嘗祭は、収穫を感謝する祭としてアキ祭であり、また、靈魂の充足をはかる「み魂のふゆ」の祭としてフユ祭である。それはハルを迎えるための祭であった。

日本語のアキということばは、季節の秋をあらわす以前に、収穫を意味する古語だったフユはみ魂のフユのフユで、靈魂の増殖を意味し、ハルは墾る、すなわちフユごもりから田畑をおこす意であった。

祭の主役である「稲」(Oryza sativa L.)が日本に伝播された時期ははっきりしないが、最近では三千年以上もの昔に遡って岡山県や青森県で発見されている原産地も中国及び、印度、またはアフリカともいわれている。栽培は印度支那又は、印度ベンガル地方に起源して、ペルシャを経て地中海沿岸地方に入ったとする説と中国に起源して日本に入ったとする等諸説がある。

たった一粒の種籾から2000粒、3000粒もの米を実らせる稲。2年で400万、3年で80億、4年で16兆一。こんな作物は他にはない。「一粒万倍」といわれるこの「稲」にはじめて出会った先祖の人達は、どれほどの驚きと、喜びと、そして敬虔な祈りとで、それをこの国土に根付かせたのでしょうか。

「稲は命の根なり」といわれるように、稲の文化、藁の文化を育み育ててくれたご先祖に心より感謝いたしましょう。

合掌

参考引用文献 「節供の古典」桜井満 「年中行事を科学する」永田久
「日本の米」富田和子 「稲の道」渡部忠世 「資源植物事典」北隆館



03黒髪山キャンプフィールド自然塾(主催 奈良市 黒髪山C.F運営協議会)

「人と自然の会」では、初の公園ボランティアとなります。対象は子供が主体です。多くの方のご指導をお願いします。

1. 日時：11月9日(日) AM9:30~PM3:30
2. 集合時間・場所：AM9:30 黒髪山キャンプフィールド
3. 交通：近鉄奈良駅バス停13番乗り場。「加茂行き」(109.111系統)、「高の原行き」(115系統)で「黒髪奈保町」下車、西へ徒歩15分。バス発車時刻(8:28,38,49. 9:08,13)..
なお会場までの車も準備されていますので、降りたバス停でお待ちください。
4. 持ち物：昼食は「協議会」で、工作用具は「人と自然の会」で準備します。
5. 工作内容：「モックン」「イタドリ・ダンチクの小笛」「ドンダリの実(ヤジロ兵衛他)」
6. 申し込み：11月5日までに。樋口善雄宛 TEL.FAX:



ネイチャーなら
奈良・人と自然の会

〔11月度例会〕 秋色のみたらい溪谷

紅葉がいちばん映える11月のみたらい溪谷。大峰山系から流れる山上川が造り上げた奇岩・巨岩、清流と滝が織りなす溪谷の秋を楽しみに行きませんか。気楽にご参加ください。

〈日時〉 : 11月10日(月)
〈集合〉 : 近鉄 下市口駅 改札口 午前9時10分
〈交通〉 :

- ・ 西大寺〔橿原神宮前行急行〕7:56…八木8:20…橿原神宮前8:26 乗換
- ・ 近鉄阿部野橋〔吉野行急行〕7:50…橿原神宮前8:31…下市口9:06 着

* 近鉄電車の乗車駅から『天の川探勝きっぷ』を利用されますと15%OFFになります。

〈コース〉 :
天川川合……白倉出合……観音峰分岐……竜泉寺……洞川温泉

600m 650m 790m 850m 830m

〈担当〉 : 弓場厚次



NATURE NARA

ネイチャーなら
奈良・人と自然の会

第2回 東海自然歩道・自然観察会

前回の「奥香落」は6月の始め、ツルアジサイやコアジサイの開花期で、済浄坊溪谷のカエデの仲間達も美しい新緑の日陰を落としておりました。今回は紅葉が一段と映える済浄坊溪谷から当シリーズでは最高所のクマタワを経て室生寺に向います。

〈コース名〉 ② 奥香落 (おくこうち)
〈日時〉 11月18日(火) 8時50分 集合 (時間厳守)
〈集合場所〉 近鉄名張駅: 西口改札口 (三重交通バス・曾爾方面)

* 西大寺〔橿原神宮前行各停〕7:37…八木8:07乗換

近鉄ナンバ〔奈良行快急〕7:31発…鶴橋7:34乗換〔松阪行区快〕7:41発…八木8:16…名張8:47

〈行程〉 近鉄名張…太良路～済浄坊溪谷～クマタワ～龍穴神社～室生寺…室生口大野
〈担当〉

勝田 均

寺田正博 (

弓場厚次

12月度例会 大和三山めぐり

大和平野の南東部、飛鳥古京の北に並ぶ大和三山。いずれも200mに満たない低山ですが古代大和政権の時代に歴史に彩られ、万葉にも多く詠まれています。

初冬の大和三山を巡って悠久の歴史にふれて見ませんか・・・？

日時：12月1日(月) 10:00～15:00

集合：近鉄八木駅北側 駅前広場

交通：西大寺(橿原神宮前行き急行) 9:26・・・八木9:46

コース：近鉄八木駅・耳成山・藤原京跡・天の香具山・

本薬師寺跡・畝傍山・橿原神宮

(*解散後忘年会を予定しています。参加いただける方は担当までご連絡下さい。)

担当：

2003年10月度定例幹事会報告

1. 日時 2003年10月3日 pm6:00～9:00

2. 場所 奈良県文化会館

3. 司会 勝田 記録 野田

4. 議事

[報告要項]

① 会員動向 86名(未納者含まず)

② 9月度定例会「明日香・彼岸花」自然観察会 参加者18名

③ 生駒市西畑町棚田再生作業

9/21 稲架掛け終了 10/25 脱穀予定 10月中旬草焼き、芋掘り予定

※ 10/6 生駒棚田クラブ発足総会予定

[確認事項]

「黒髪山キャンプフィールド自然塾」(11/9)に参加、準備会10/18実施

[討議事項]

① *10月度例会「生駒山麓を歩く」のコースを下見の結果変更 (川井・大寺)

*東海自然歩道自然観察会の日程確認：11/12・12/8・1/19(弓場)

② 国有林間伐ボランティアについて

近畿中国森林管理局奈良森林管理事務所と間伐実習について相談中。現地下見の日程を調整中である。(弓場)

編集後記

[秋の山では蜂にも注意]との新聞投書が目にとまりました。その[体験的対策法]とは①蜂に不安をあたえない②衣類は黒色系ダメ③匂いには敏感(香水・ポマードは厳禁)。もし刺されても動転せず、冷やしてゆっくり行動することが大切、とありました。くれぐれもご注意を。

編集担当 : 勝田 均

Tel&Fax

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫

“いこま棚田クラブ”が正式に発足しました。(オープン参加歓迎)

生駒山中腹(奈良県側)のくらがり越え奈良街道(現国道308号)沿いの西畑地区の棚田復活を目指して、H15年6月より、ネイチャーなら、里山クラブ、自然保護部、その他有志が集まって、棚田復活予定地の草刈りや、そばの種まき、稲刈り体験など、毎週6~15名の参加者によって13回の作業をやってきました。そして有志諸氏の熱い思いの元に「いこま棚田クラブ」として発足することになりました。まだ始まったばかりです。これから地元の人とひざを交えて棚田復活のプラン作りをしたいと思います。決して無理をせず、持続可能な活動と発展を目指しています。当面はオープン参加で、いつでも誰でも都合の良い時に参加してください。会費は無料です。

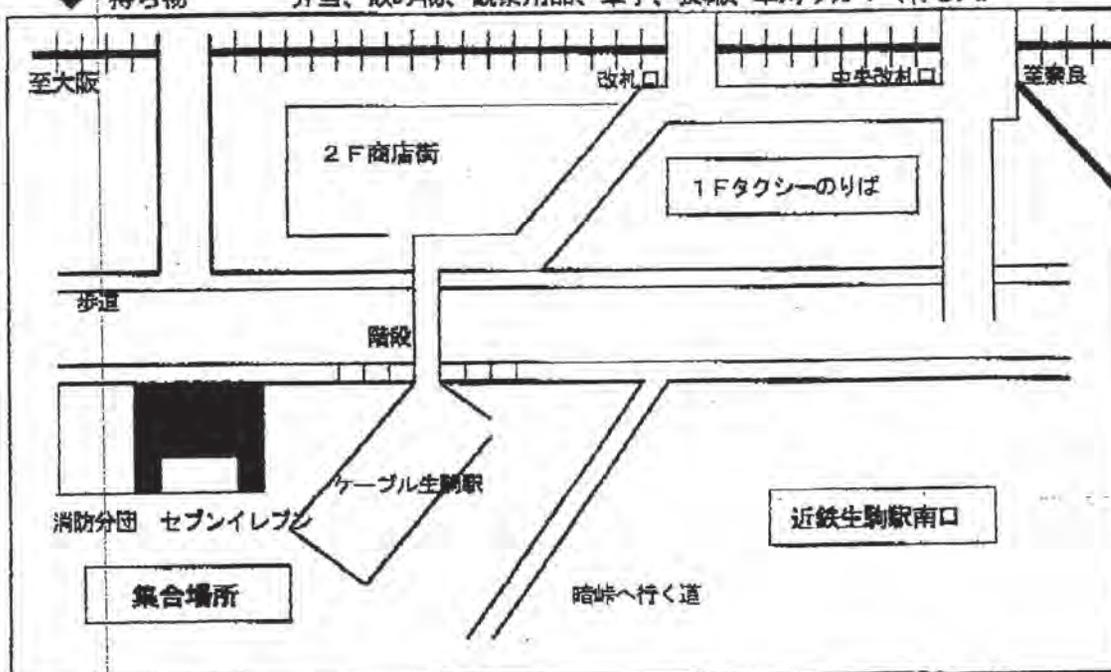
棚田の活動に興味のある方の参加をお待ちしています。

- ◆ 活動日は基本的には、日曜日(第1, 3, 5)、月曜日(第2, 4)とします。
但し、イベントや活動周期が長い場合は、調整を計ります。
- ◆ 11月活動日 11/2(月)、11/10(月)、11/16(日)、11/24(月)、11/30(日)
- ◆ 12月活動日 12/8(月)、12/14(日)、12/22(月)
- ◆ 集合場所 近鉄生駒駅前 9時30分集合
- ◆ 行き方 近鉄鶴橋駅(快速15分)→生駒駅(乗り換え生駒線王寺行き6分)→南生駒駅
南生駒駅から現地までは車で移動(10分)
- ◆ 持ち物 弁当、飲み物、観察用品、軍手、着替え、長靴、草刈りがま(ある人)
* お願い : 参加人数に応じて、車の手配が必要になります。参加者は事前に、
TELまたはFAXで下記までご連絡下さい。
大寺 道代(シ8期) TEL&FAX 0743-79-1544
「いこま棚田クラブ」の初代幹事が、下記の通り決まりました。
代表幹事 出口 育宏(自6)
副代表幹事 阿部 和生(自5) 大石 門三(シ9) 川口 達夫(自8)
事務局 大寺 道代(シ8)

見違えるように美しくなった”いこまの棚田” 【12月から集合場所が変わります】
継続することの魅力・・・一度体験してみませんか!! いこま棚田クラブ

いま棚田の石垣出しに夢中。草に覆われた石垣が次々と出現。くらがり街道からの景観に連行くハイカーが驚いています。

- ◆ 12月活動日 12/8(月)、12/14(日)、12/22(月)
- ◆ 1月活動日 1/12(月)、1/18(日)、1/26(月)
- ◆ 集合場所 近鉄生駒駅南口 セブンイレブン前 9時30分(下記路図参照)
- ◆ 持ち物 弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴、草刈りがま(有る人)



お願い : 生駒駅からは車で移動します。(15分) 参加者は事前にt e lまたはf a xにて下記までご連絡願います。

事務局 大寺 道代(シ8期)